



社会医療法人 柏葉会
札幌柏葉会病院
 SAPPORO HAKUYOKAI HOSPITAL



〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条12丁目1番25号

病院代表 **TEL.011-876-9100 FAX.011-876-9838**

患者支援センター **TEL.011-598-1777 FAX.011-598-1208**
 ☎ 診療受付時間 8:15~11:30 13:00~16:00
 診療時間 9:00~12:00 13:00~17:00 ※受付時間・診療時間は診療科によって異なります
 休診日 土・日・祝日 ※救急診療は24時間体制

標榜科目 脳神経外科、脳神経内科、循環器内科、リハビリテーション科、放射線科、消化器内科、耳鼻咽喉科、麻酔科(瀧田 恒一)

病床数 病床数167床(一般:69床、SCU:24床、回復期リハビリテーション:74床)

駐車場 37台(南側第1駐車場:18台、北側第2駐車場:19台)

関連施設

	・脳神経内科かしわば病院 TEL.011-598-6080		・かしわば記念クリニック TEL.011-851-2580
介護事業部	・訪問看護ステーションふくずみ TEL.011-855-2933	・ケアプランセンターかしわば TEL.011-855-3031	・デイケアセンター笑るむ TEL.011-850-5041



社会医療法人 柏葉会
札幌柏葉会病院
看護職員募集案内





札幌柏葉会病院は 高度な技術とスキルを持つ 脳と神経の専門病院です

社会医療法人 柏葉会は、これまで札幌市福住地区で50年以上にわたり急性期脳神経外科診療を行ってまいりましたが、この度、札幌柏葉会病院を2024年12月 札幌リードタウン平岸ベース内に開院いたします。

札幌柏葉会病院でも今まで同様、脳神経疾患が診療の中心になることには変わりはありません。

最新の医療設備と優れた医療技術で救急医療・高度急性期医療を提供し、『人と医療と未来をつなぐ』という想いのもと、この札幌で地域とともに歩みながら、日本を代表する神経科学の拠点病院へ発展していくことを目指します。

診察科	<ul style="list-style-type: none"> ・脳神経外科 ・脳神経内科 ・循環器内科 ・リハビリテーション科 	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線科 ・麻酔科 ・消化器内科 ・耳鼻咽喉科
センター	<ul style="list-style-type: none"> ・高度脳血管病センター ・先端医療研究センター ・脳血管内治療センター ・FUSセンター 	
専門外来	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管病外来 ・血管内治療外来 ・ふるえの外科外来 	

診療実績 2023年



Terasaka Shunsuke
社会医療法人 柏葉会 理事長
札幌柏葉会病院 院長
寺坂 俊介
■脳神経外科
日本脳神経外科学会専門医 医学博士

病院理念

信頼と尊敬の医療

病院ロゴは使用目的によって基本形から“E”“W”“命”“笑顔”等に変更できるものを採用しました。我々自身が変化することを躊躇しない組織であることも表しています。

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見(セカンドオピニオン)を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

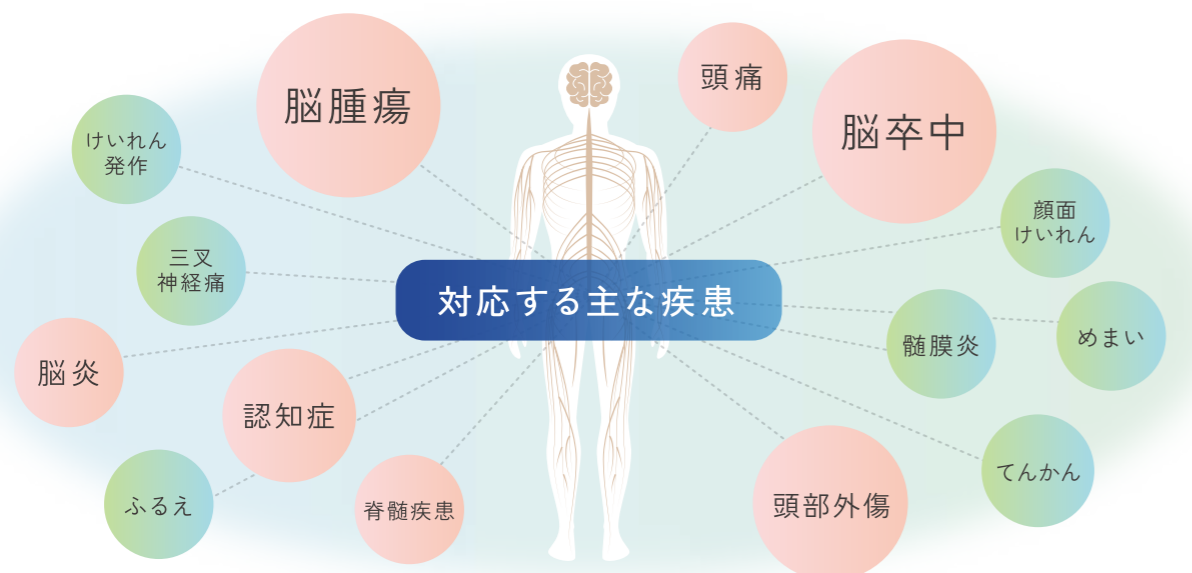
しなやかな強さと 豊かな想像力を

脳神経外科病院の治療のゴールは「救命」から「機能予後向上」へと拡大し、近年は「予防」や「失われた機能の再建」がクローズアップされています。

私たちは、こうした社会の動きに応えるため、先端医療技術を駆使し、札幌で世界標準の脳神経外科医療の提供を目指しています。

医師、看護師、診療放射線技師、リハビリテーションスタッフなどの多職種が協働し、一人一人の患者さんに合わせた医療を実践・展開します。中でも看護師は患者さんやご家族にとって身近な存在です。診断や治療の飛躍的な進歩に携わりながら、「その人らしさ」を大切に看護を追求できる体制が当院の強みです。

先輩から専門知識と技術を学び、「しなやかな強さ」と「豊かな想像力」を持って、仲間と力を合わせて患者さんを支えましょう。



超急性期から在宅までを支える

脳と神経の専門看護

札幌柏葉会病院 看護部 理念

その人らしさの探求

豊かな感性で患者さんを受け止める 看護を提供しています

当院に入院する患者さんのほとんどは、突然の発症で手足が動かしにくくなったり、飲み込みができなくなったなど、脳の病変による運動麻痺や感覚障害に直面しています。中には意識がない状態で治療を開始せざるを得ない状況の患者さんもいます。特に脳卒中は、命を取り留めても深刻な後遺症が残る場合があり、これまで普通に生活していた患者さんの生活を一変させます。

看護部が理念として掲げる「その人らしさの探求」は、患者さんの個別性を尊重し一人一人の患者さんの思いを受け止める看護です。患者さん個々の治療や看護だけでなく、その後の人生や生活をどうするかまでを考えてサポートしなければなりません。人生において大事にしている価値観や生活の質に配慮したケアを提供することが、私たち看護師に求められています。

看護の第一歩は患者さんの立場を理解することです。さらに、その人らしい生き方を支援する医療・看護の確かな知識と技術、迅速で適切な判断力が必要になります。

私たちは、当院に来られる患者さんや地域の皆様の信頼に応えられる看護を提供できるよう、看護職員の実践力を高める教育に力を入れています。



看護部長
認定看護管理者
小林 利絵子

病床数

許可病床 167床

脳卒中ケアユニット (24床)	3	: 1看護体制
3階病棟 (37床)	13	: 1看護体制
4階病棟 (37床)	13	: 1看護体制
5階病棟 (36床)	10	: 1看護体制
6階病棟 (33床)	10	: 1看護体制

看護単位

7看護単位 病棟5、外来、手術室

看護要員

170人 非常勤、パート職員含む
(2024年12月1日現在)



回復力を引き出す、希望あふれる医療環境

ナーシングホール



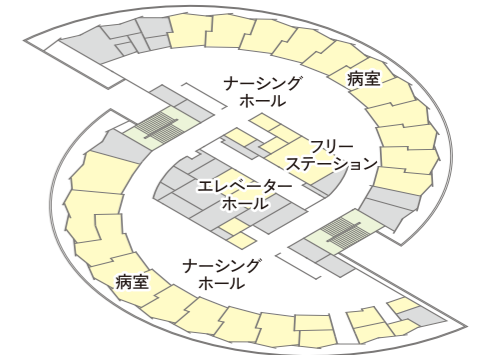
空間がつながりを提供する
互いの絆を育む空間。

空間が安全を提供する
自然採光で明るい空間。
見通しのよいホール、
アクセスしやすい距離感。

●3～6F病棟階

寄り添う看護を可能にする

地上7階建てのうち3～6階が病棟階になります。上から見ると柏の葉のように見える、半円を二つずらして合わせた形の病棟階デザインは当院の大きな特徴であり、見通しが効いて医療安全の面でも優れた構造です。医療者と患者さんを隔てる詰所という概念を無くし、スタッフと患者さんが身近な距離でコミュニケーションをとることができます。藻岩山や天神の景色を望む開放的な広い空間で、患者さんに寄り添う看護やアクティブなリハビリテーションを実践していきます。



空間が癒やしを提供する

従来の病院のイメージを覆し、個室感を重視した病棟デザイン



機能的かつジェンダー平等を実現する
看護師のユニフォーム



看護の基本的な知識や技術を身に付ける1年目研修

プリセプターや新人教育担当者だけでなく、スタッフ全員で新人看護職員を育てます。1年間を通じた研修プログラムで少しずつ確実に看護技術を習得できます。



	研修内容	講師
4月	看護部研修オリエンテーション	教育担当主任
	看護部オリエンテーションⅠ	看護部長
	看護部オリエンテーションⅡ	副看護部長
	看護部教育体制と新人看護職員研修制度	教育担当主任
	医療安全	医療安全管理者
	薬剤の基礎知識	薬剤科
	与薬の基本	看護主任
	脳神経外科の疾患と症状	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	脳/神経症状の観察とアセスメント	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	日常生活援助Ⅰ：起位動作・移動動作の基本	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	日常生活援助Ⅱ：ポジショニング(褥瘡予防を含む)	褥瘡対策委員会専任看護師
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護主任
	日常生活援助Ⅲ：転倒転落防止	看護主任
	感染管理	感染管理責任者
日常生活援助Ⅳ：病衣交換・オムツ交換	コンチネンス委員	
5月	看護支援システム操作【看護記録・各種アセスメント入力等】	看護主任
	看護必要度について	業務改善委員
	配属前オリエンテーション	看護主任
	シャドー研修(所属部署にて)	部署スタッフ
	接遇研修	院外講師
	採血・注射法	看護主任
	点滴静脈注射法	看護主任
	輸液ポンプ・シリンジポンプ使用方法	看護主任
	ME機器の管理と取り扱い	臨床工学科
	日常生活援助Ⅴ：排泄ケア(導尿・膀胱留置カテーテル等)	看護主任
日常生活援助Ⅵ：摂食嚥下障害の看護ケア	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	
6月	脳外科専門領域看護	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	メンタルヘルスケア/チームビルディング研修	新人教育担当者
7月	医療安全研修<KYT研修>	看護主任
8月	急変時看護<BLS ~ ACLS>	看護主任
10月	看護技術フォローアップ研修	新人教育担当者
	リフレッシュ研修	新人教育担当者
	夜勤シャドー研修	部署スタッフ
11月	多重課題シミュレーション研修	教育委員
3月	1年目研修(ナラティブ研修)	新人教育担当者

目指す未来へのステップアップ

自分の能力やライフスタイルに応じて、キャリアをデザインできます。看護部では個々の能力段階に応じた教育支援を行っています。階段を昇るように、看護技術が身に付きます。

看護のスペシャリストを目指す

専門看護師・認定看護師は、看護の質向上を目的に設けられた日本看護協会の資格認定制度です。当院では「急性・重症患者看護専門看護師」「老人看護専門看護師」「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師」「認知症看護認定看護師」「皮膚・排泄ケア認定看護師」など、脳神経疾患に関係する専門・認定看護師の育成を支援しています。

看護管理者を目指す

看護管理者は、管理職として看護部の一部または全体のマネジメントを担う重要な存在です。看護スタッフを束ね、チーム力を高めて現場を動かします。病院管理者と共に病院全体を見ながら、理想の看護を追求する役割を担います。

臨床看護師実践能力を身に付けられるキャリアラダーの概念図

